英文法 L01 第 40 講 SVOC と補語

学習目標

目的語と補語の関係から、SVOC の成立を判断できる。

1. SVOC では目的語と補語が結び付く

英文の基本的な文型の一つに、**SVOC（主語＋動詞＋目的語＋補語）** がある。

S は主語、V は動詞、O は目的語、C は補語を表す。SVOC で特に重要なのは、**C が O について何かを述べている**という点だ。

定義

目的格補語（C）

SVOC において、目的語 O が何であるか、どのような状態にあるか、どのような動作をしているかなどを述べる部分を、目的格補語という。

基本構造は次のとおり。

S ＋ V ＋ O ＋ C

O と C の間には、C が O について説明する関係がある。この関係を**叙述関係**という。

まず、名詞と形容詞が C になる場合を確認する。

They call him Ken.　彼らは彼をケンと呼ぶ。

この文では、They が S、call が V、him が O、Ken が C に当たる。

Ken は him という人物の名前を表している。つまり、him と Ken は同じ人物を指している。

一方、次の文では関係が少し異なる。

We keep the room clean.　私たちはその部屋を清潔に保っている。

We が S、keep が V、the room が O、clean が C に当たる。

clean は形容詞で、the room がどのような状態にあるかを表す。「部屋＝清潔という物」という意味ではなく、「部屋が清潔な状態にある」という関係だ。

このように、名詞 C と形容詞 C では、O について述べる内容が異なる。

2. 補語 C になれる語の種類

補語 C には名詞や形容詞だけでなく、分詞が使われることもある。

分詞は動詞からできた形で、動作や状態を表す働きを持つ。第 37 講で学んだ現在分詞（-ing 形）と過去分詞を、ここでは O と結び付く補語として考える。

次の 4 つの英文を比べよう。

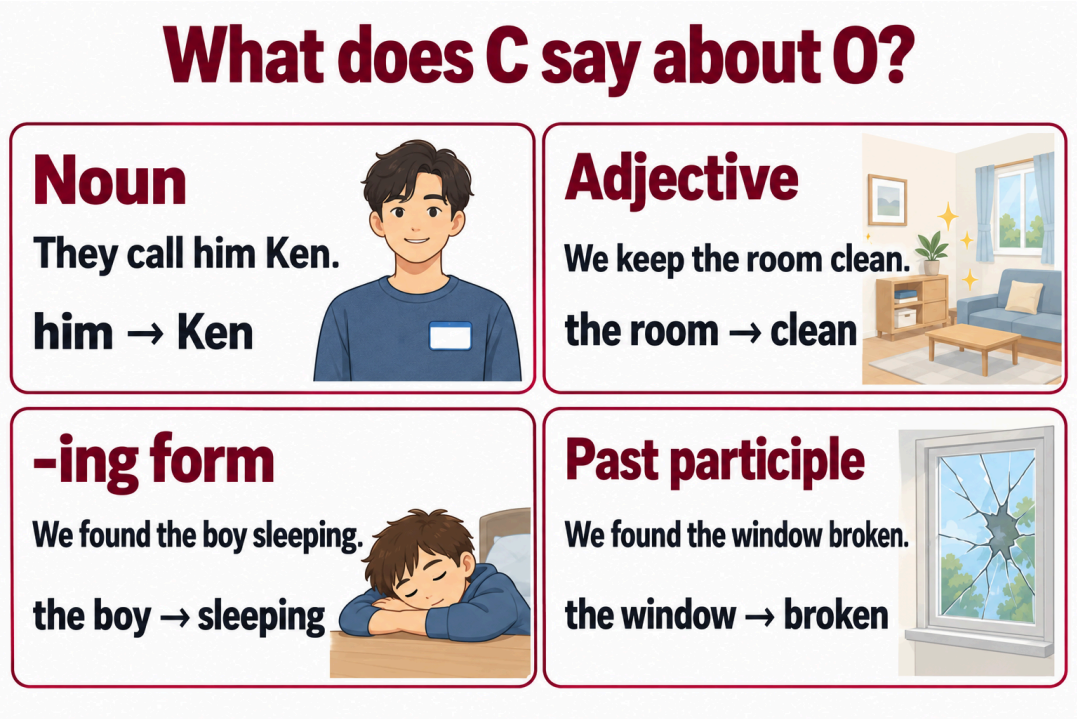
They call him Ken.　彼らは彼をケンと呼ぶ。

We keep the room clean.　私たちはその部屋を清潔に保っている。

We found the boy sleeping.　私たちはその少年が眠っているのを見つけた。

©ミライコーチング

We found the window broken.　私たちはその窓が割れているのを見つけた。



この図では、C が O について何を述べているかによって、4 つの例文を分類している。

C の種類	O と C の関係	例
名詞	O の名前・立場・役割などを表す	him → Ken
形容詞	O の性質・状態を表す	the room → clean
現在分詞（-ing 形）	O が行っている動作などを表す	the boy → sleeping
過去分詞	O が受けた動作や、その結果の状態などを表す	the window → broken

ポイント

SVOC を判断する中心は、O と C の意味上の関係である。

名詞 C の場合、O と C が同じ人物や物を指すことがある。

形容詞 C の場合、C は O の性質や状態を表す。

分詞 C の場合、C は O に関係する動作や状態を表す。

どの場合も C が O について述べているが、すべてを文字どおり「O＝C」という同一物の関係で考えるわけではない。

3. 分詞が C になるときの意味

分詞が C になる場合は、**O がその動作をしているのか、それとも O が動作を受けた状態にあるのか**を考える。

3-1. 現在分詞（-ing 形）が C になる場合

We found the boy sleeping.　私たちはその少年が眠っているのを見つけた。

この文を SVOC に分けると、次のようになる。

S：We　V：found　O：the boy　C：sleeping

sleeping は sleep の現在分詞だ。

眠っているのは、主語の We ではなく、目的語の the boy である。

したがって、O と C の関係は「その少年が眠っている」と考えられる。

ここでの sleeping は、found という動作そのものを説明しているのではない。見つけたときの少年の動作・状態を表している。

3-2. 過去分詞が C になる場合

We found the window broken.　私たちはその窓が割れているのを見つけた。

この文では、the window が O、broken が C だ。

broken は break の過去分詞で、窓が割れた状態を表している。

窓が何かを壊しているのではなく、窓そのものが壊れているという関係だ。

この場合、O と C の関係は「その窓が割れている」と考えられる。



図の左側では、少年自身が眠っている。右側では、窓がすでに割れた状態になっている。

両方とも found の後ろに O と C が続くが、sleeping と broken では表している内容が違う。

図中の矢印は、O と C の意味上のつながりを示している。見つけた人が少年を眠らせた、あるいは窓を壊したという因果関係を示すものではない。

注意

過去分詞 C が表す意味には注意する。

broken は、この例では「割れている」という結果の状態を表す。過去分詞には受動的な意味を持つものが多いが、すべての過去分詞を機械的に受動の意味だけで判断してはいけない。

また、-ing 形があれば必ず SVOC になるわけでもない。動詞との組み合わせや文中の働きを確認する必要がある。

---

4. SVOC を判断する手順

SVOC を見分ける際は、まず文の中心となる動詞を確認し、その後ろにある O と C の関係を調べる。

たとえば、次の文を考える。

The news made her happy.　その知らせは彼女を幸せな気持ちにした。

made が V、her が O、happy が C だ。

happy は her の状態を述べている。つまり、「彼女が幸せな気持ちになる」という関係が成立する。

このように、次の順番で確かめるとよい。

1. **V を確認する。** どの動詞が文の中心になっているかを調べる。
2. **O を特定する。** 動詞の対象となる人物や物を確認する。
3. **C の候補を調べる。** 後ろの語が O の名前・性質・状態・動作などを述べているかを考える。
4. **動詞との組み合わせを確認する。** その動詞が、その形の C を取れる用法で使われているかを確かめる。

ポイント

O の後ろに名詞・形容詞・分詞が続いていても、それだけで SVOC とは決まらない。

C が O について述べていることと、その動詞がその形の C を取れることの両方を確認する。

たとえば、find には O の後ろに現在分詞や過去分詞を置く用法がある。一方、同じ形をどの動詞の後ろにも自由に置けるわけではない。

例題

1

次の英文が SVOC となり、空所に目的語 Tom の性質を表す補語 C が入るように、最も適切なものを選べ。

The teacher considered Tom (　) for the task.

A. reliability

B. reliable

C. reliably

D. rely

解答・解説

正解：B. reliable

完成英文

The teacher considered Tom reliable for the task.　先生はトムがその仕事を任せるのに信頼できると考えた。

判断手順

まず、considered を V、Tom を O と捉える。

この文の consider は「O を C だと考える」という SVOC の用法で使われている。

したがって、空所には Tom がどのような人物かを述べる C が必要だ。

reliable は「信頼できる」という意味の形容詞であり、Tom の性質を表せる。

O と C の間には「Tom は信頼できる」という関係が成立するため、B が正解となる。

各選択肢の検討

A. reliability：誤り。reliability は「信頼性」という抽象名詞だ。この文では Tom という人物の性質を直接述べる形容詞が必要であり、reliability をそのまま C に置くことはできない。

B. reliable：正しい。reliable は形容詞で、O の Tom が信頼できる人物であることを表す。consider O C の形に合っている。

C. reliably：誤り。reliably は「信頼できる形で」という副詞だ。動作の仕方などを述べる副詞であり、この文で必要な Tom の性質を表す C にはならない。

D. rely：誤り。rely は「頼る」という動詞の原形だ。この consider の用法では、Tom の後ろに rely をそのまま置いて目的格補語にすることはできない。

この例では、**O の性質を述べる形容詞が C になる**ことを確認できる。

2

次の英文が、犬を見つけたときの動作・状態を表す SVOC となるように、最も適切なものを選べ。

We found the little dog (　) outside.

A. sleep

B. slept

C. sleeping

D. sleeps

解答・解説

正解：C. sleeping

完成英文

We found the little dog sleeping outside.　私たちはその小さな犬が外で眠っているのを見つけた。

判断手順

found が V、the little dog が O に当たる。

空所には、見つけたときの犬の様子を表す C が入る。

眠っているのは主語の We ではなく、目的語の the little dog だ。

したがって、O と C の間には「その小さな犬が眠っている」という関係が必要になる。

sleeping は現在分詞で、犬が眠っている様子を表せるため、C が正解となる。

各選択肢の検討

A. sleep：誤り。sleep は動詞の原形だ。この文の find O C という用法では、犬が眠っている様子を表すために現在分詞 sleeping を用いる。find の後ろに O＋sleep を置く形にはしない。

B. slept：誤り。slept は sleep の過去形・過去分詞だ。「犬が眠っているところを見つけた」という意味に必要な現在分詞ではない。また、この文で slept を単独の C として使うこともできない。

C. sleeping：正しい。sleeping は現在分詞で、O である the little dog 自身が眠っていることを表す。find O -ing の形に合っている。

D. sleeps：誤り。sleeps は現在形の三人称単数形だ。この位置に置いて、the little dog の動作を表す C にすることはできない。

重要なのは、**動作をしているのが O であることを確認したうえで、その動詞に合う C の形を選ぶ**ことだ。

演習問題

次の各問について、A〜D から最も適切なものを 1 つ選べ。

O と C の関係を判断する

1

次の英文について、SVOC の O と C の組み合わせとして正しいものを選べ。

The students called their new teacher Ms. Ito.

A. O = the students / C = Ms. Ito

B. O = their new teacher / C = Ms. Ito

C. O = Ms. Ito / C = their new teacher

D. O = their new teacher / C = called

2

次の英文について、O と C の意味上の関係を正しく説明しているものを選べ。

The soft music kept the baby calm.

A. the soft music が calm な状態にある。

B. the baby が the soft music を落ち着かせている。

C. calm が kept の動作の仕方を表している。

D. the baby が calm な状態にある。

3

次の英文について、O と現在分詞 C の関係を正しく説明しているものを選べ。

We found the baby crying in her room.

A. the baby が泣いている。

B. We が泣いている。

C. her room が泣いている。

D. the baby が誰かに泣かされていることを表している。

4

次の英文について、過去分詞 C の意味を正しく説明しているものを選べ。

The workers left the back door locked.

A. the workers が施錠された状態にある。

B. the back door が何かを施錠する動作をしている。

C. the back door が施錠された状態にある。

D. locked が left という動作の仕方を表している。

補語 C の形を判断する

5

次の英文が、教室を清潔な状態に保つという意味の SVOC となるように、最も適切なものを選べ。

We kept the classroom (　) for the visitors.

A. cleans

B. cleaning

C. clean

D. to clean

©ミライコーチング

6

次の英文が、アヤをクラブのリーダーに選んだという意味になるように、最も適切なものを選べ。

The club elected Aya (　) this year.

A. leaders

B. leader

C. leadership

D. leading

7

次の英文が、子どもたちが夕方ずっと踊り続けたという意味になるように、最も適切なものを選べ。

The music kept the children (　) all evening.

A. dancing

B. danced

C. dance

D. dances

8

嵐が去ったあと、窓はすでに割れた状態だった。次の英文が SVOC となるように、空所に入る最も適切なものを選べ。

We found the window (　) after the storm.

A. breaks

B. breaking

C. broke

D. broken

演習問題の解答・解説

1

正解：B

完成英文

The students called their new teacher Ms. Ito.　生徒たちは新しい先生をイトウ先生と呼んだ。

判断手順

この文では、The students が S、called が V に当たる。

call はここで「O を C と呼ぶ」という SVOC の用法で使われている。

呼ばれる対象は their new teacher であり、その呼び名が Ms. Ito だ。

つまり、O と C は同じ人物を指している。

各選択肢の検討

A. 誤り。the students は「生徒たち」であり、この文の主語 S だ。呼ばれる対象を表す O ではない。

B. 正しい。their new teacher が O、Ms. Ito が C だ。C が O の呼び名を表している。

C. 誤り。Ms. Ito と their new teacher の役割が逆になっている。この文で呼ばれる対象は their new teacher であり、Ms. Ito はその呼び名だ。

D. 誤り。called は動詞 V だ。C は called ではなく、先生の呼び名を表す Ms. Ito である。

名詞 C が人の名前や呼び名を表す場合は、O と C が同じ人物を指しているかを確認すると判断しやすい。

2

正解：D

完成英文

The soft music kept the baby calm.　穏やかな音楽は赤ちゃんを落ち着いた状態に保った。

判断手順

kept が V、the baby が O、calm が C だ。

calm は「落ち着いた」という意味の形容詞であり、赤ちゃんの状態を表す。

O と C の関係は「赤ちゃんが落ち着いている」となる。

各選択肢の検討

A. 誤り。the soft music は主語 S だ。calm が説明しているのは音楽ではなく、目的語の the baby である。

B. 誤り。the baby が音楽を落ち着かせているわけではない。音楽が主語であり、赤ちゃんを落ち着いた状態に保っている。

C. 誤り。calm は kept という動作の仕方を説明する副詞ではない。目的語 the baby の状態を述べる形容詞 C だ。

D. 正しい。calm は the baby の状態を表している。「赤ちゃんが落ち着いている」という O と C の関係が成立する。

形容詞 C の場合は、その形容詞が **O の状態を表しているか**を確かめる。

3

正解：A

完成英文

We found the baby crying in her room.　私たちは赤ちゃんが彼女の部屋で泣いているのを見つけた。

判断手順

found が V、the baby が O、crying が C に当たる。

crying は cry の現在分詞であり、赤ちゃんが泣いている動作・状態を表している。

この文の O と C には、「赤ちゃんが泣いている」という関係がある。

各選択肢の検討

A. 正しい。crying の動作をしているのは O である the baby だ。

B. 誤り。We は泣いている人物ではなく、赤ちゃんを見つけた側を表す主語 S だ。

C. 誤り。her room は赤ちゃんが泣いている場所を示している。crying の動作主体は部屋ではない。

D. 誤り。crying は赤ちゃん自身が泣いていることを表す現在分詞だ。誰かに泣かされているという受動的な意味を表すものではない。

現在分詞 C では、O がその動作をしているという関係を確認する。ただし、この形を取れるかどうかは動詞の用法にもよる。

4

正解：C

完成英文

The workers left the back door locked.　作業員たちは裏口を施錠されたままにしておいた。

判断手順

left が V、the back door が O、locked が C に当たる。

locked は lock の過去分詞で、この文では裏口が施錠された状態を表す。

重要なのは、何が施錠されているかという点だ。

施錠されているのは作業員ではなく、裏口である。

各選択肢の検討

A. 誤り。the workers は主語 S であり、施錠されている対象ではない。この文の locked は O である the back door について述べている。

B. 誤り。the back door が何かを施錠する動作をしているという意味ではない。裏口自体が施錠された状態にある。

C. 正しい。locked は the back door の状態を表す過去分詞 C である。

D. 誤り。locked は left という動作の仕方を表す副詞ではない。裏口がどのような状態で残されたかを表している。

この文の過去分詞 C は、**O が動作を受けた結果の状態**を表している。また、作業員たちが実際に施錠したかどうかまでは、この文だけでは決まらない。

5

正解：C. clean

完成英文

We kept the classroom clean for the visitors.　私たちは訪問者のために教室を清潔に保った。

判断手順

kept が V、the classroom が O だ。

空所には、教室がどのような状態に保たれたかを表す C が必要になる。

clean は「清潔な」という意味の形容詞で、the classroom の状態を表せる。

この文では keep O C の形が使われている。

各選択肢の検討

A. cleans：誤り。cleans は動詞 clean の三人称単数現在形だ。この位置で教室の状態を表す C にはならない。

B. cleaning：誤り。cleaning は現在分詞で、「掃除している」という動作を表す。keep O -ing という形自体はあるが、この文では教室自身が掃除する動作をしているわけではないため、文意に合わない。

C. clean：正しい。clean は形容詞で、教室が清潔な状態にあることを表す。

D. to clean：誤り。to clean は to 不定詞の形だ。この文で必要な「教室が清潔な状態にある」という補語を表す形ではない。また、この意味の keep O C では to clean を用いない。

動詞がどの形の C を取れるかと、**C が O についてどのような内容を述べているか**の両方を確認する。

6

正解：B. leader

完成英文

The club elected Aya leader this year.　そのクラブは今年、アヤをリーダーに選んだ。

判断手順

elected が V、Aya が O だ。

elect には「O を C に選ぶ」という SVOC の用法がある。

この文では、C に選ばれた役職を表す名詞が入る。

Aya という 1 人の人物がリーダーになったことを表すため、単数形の leader が適切だ。

このように、elect O C で役職を表す場合には、C となる単数名詞を無冠詞で用いることがある。

各選択肢の検討

A. leaders：誤り。leaders は「リーダーたち」という複数形だ。Aya という 1 人の人物の役職を表すこの文には合わない。

B. leader：正しい。leader は「リーダー」という名詞で、Aya が選ばれた役職を表す C になる。

C. leadership：誤り。leadership は「指導力」「指導的立場」などを表す抽象名詞だ。この文で Aya という人物が選ばれた役職を直接表す語としては適切ではない。

D. leading：誤り。leading は「主要な」「先頭に立つ」などの意味を持つ形容詞・分詞の形だ。ここで必要な「リーダーという役職」を表す名詞 C にはならない。

名詞 C では、O と C の間に、人物とその役職などの関係が成立するかを確かめる。

なお、役職名を無冠詞で用いるこの形は elect などの用法によるものであり、すべての動詞の名詞 C について冠詞を省けるわけではない。

7

正解：A. dancing

完成英文

The music kept the children dancing all evening.　その音楽によって、子どもたちは夕方ずっと踊り続けた。

判断手順

kept が V、the children が O だ。

空所には、子どもたちが続けていた動作を表す語が必要になる。

踊っているのは音楽ではなく、子どもたち自身だ。

この意味では、keep O -ing の形を用いる。

したがって、現在分詞 dancing が正解となる。

各選択肢の検討

A. dancing：正しい。dancing は現在分詞で、the children が踊っている動作を表す。keep O -ing の形に合っている。

B. danced：誤り。danced は dance の過去形・過去分詞だ。この文では、子どもたちが踊る動作を続けていることを表したいため、過去分詞ではなく現在分詞を用いる。

C. dance：誤り。dance は動詞の原形だ。この意味の keep O C では、原形 dance ではなく現在分詞 dancing を用いる。

D. dances：誤り。dances は現在形の三人称単数形だ。ここで O の動作を表す C として使うことはできない。

この問題では、keep が O の後ろに-ing 形を取る用法で使われている。ほかの動詞も必ず-ing 形を取るという意味ではない。

8

正解：D. broken

完成英文

We found the window broken after the storm.　嵐のあと、私たちは窓が割れているのを見つけた。

判断手順

found が V、the window が O だ。

文脈では、窓はすでに割れた状態だった。

したがって、空所には窓が受けた動作の結果としての状態を表す語が必要だ。

broken は break の過去分詞であり、「割れた状態にある」という意味を表せる。

この文では find O broken という SVOC の形が成立する。

各選択肢の検討

A. breaks：誤り。breaks は現在形の三人称単数形だ。この位置に置いて、窓の状態を表す C にすることはできない。

B. breaking：誤り。breaking は現在分詞で、「割れていく」「壊れつつある」という動作の進行を表し得る。しかし、ここでは窓がすでに割れた状態であったことが明示されているため、文意に合わない。

C. broke：誤り。broke は break の過去形だ。過去形をそのまま目的格補語に置くことはできない。必要なのは、結果の状態を表す過去分詞 broken である。

D. broken：正しい。broken は過去分詞で、O である the window が割れた状態にあることを表す。

この文では、窓が割れた状態で見つかったことが分かる。一方、誰が窓を割ったのかまでは示されていない。

現在分詞は O が行っている動作、過去分詞は O が受けた動作やその結果の状態を表すことがある。
分詞の形だけで決めず、O との意味上の関係と文脈を合わせて判断することが重要だ。

©ミライコーチング